

子どもが健やかに育つことができ、誰もが安心して子どもを生き育てられます。



戦略

6

## 楽しく子育てができるまちづくりを進めます

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



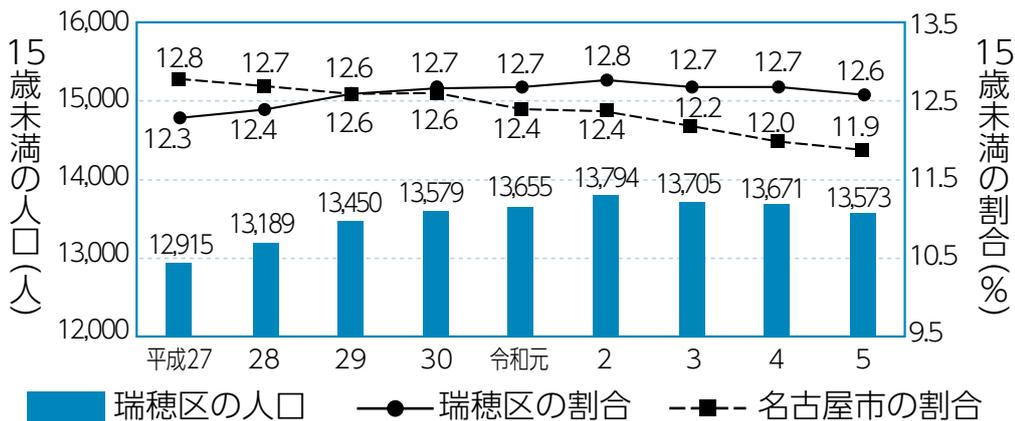
### 現 状

名古屋市の15歳未満の人口の割合は近年減少傾向にあります。瑞穂区では、令和2年度までは増加していたものの、令和3年度からは減少に転じました。そのような中、核家族化や地域のつながりの希薄化により、身近に子育ての相談をする人がいないなど、育児の不安や悩み、負担感・孤立感を抱える人が増加してきています。また、地域において年齢の異なる子ども同士の交流や大人と接する機会が減少しており、地域のつながりの希薄化が進んでいます。

市内3か所の児童相談所における児童虐待対応件数は増加傾向にあり、令和2年度に過去最多となりました。瑞穂区における対応件数は、16区の中では比較的少ないものの、各家庭が抱える悩みは多様化してきています。

名古屋市の保育所等の待機児童数は、平成26年度以降0人を実現していますが、社会情勢の変化に伴う働き方の多様化などにより保育ニーズも多岐にわたり、その対応が求められています。

## ■ 15歳未満の人口及び割合 各年10月1日現在



## ■ 児童虐待対応件数(件)

年度	平成27	28	29	30	令和元	2	3	4
件数	108	110	142	82	127	133	117	87

※児童相談所及び区役所において対応した件数

## 課 題

- ◆健康上の課題や家庭環境等の理由から支援を必要とする家庭が増えているため、関係機関が連携し、すべての妊娠を適切な支援につなげるとともに、切れ目のない支援を行う必要がある。
- ◆子育ての不安を解消し、楽しく子育てをすることができるよう支援する必要がある。
- ◆子育ての負担感や孤立感を軽減していくため、交流の場を提供するなど支援し、地域全体で子育てを支えていくことが必要である。
- ◆社会的背景や働き方の多様化に伴い多岐にわたる保育ニーズに対応するため、地域の保育ニーズの把握に努め、保育所利用希望者に対して個々の事情に応じた、きめ細やかな情報提供と相談支援をする必要がある。
- ◆児童虐待対応件数は16区の中で少ない状況ではあるが、子どもの命を守るため、関係機関等が緊密に連携を図ることで、できる限り早期に虐待を発見し、適切な支援へとつなげるとともに、虐待の発生自体を予防する取り組みを進めていくことが必要である。
- ◆ヤングケアラーとなっている子どもをできる限り早期に発見し、適切な支援へとつなげる取り組みを進めていくことが必要である。
- ◆思いやりや豊かな人間性、社会性を身につけられる環境づくりが求められており、保護者や行政、地域等が協働して推進していくことが必要である。

## 施策15 安心して子育てができるよう支援します

実現させるための方策

### ■ 妊娠期からの出産、育児への切れ目のない支援の充実

母子健康手帳交付時に妊婦の状況を把握するとともに、様々なニーズに即した必要な支援を継続的に行います。また、「子育て総合相談窓口」で、身近な相談に応じます。

### ■ 安心して子育てできる環境の整備

保護者自身や子どもに健康上の課題があっても、安心して子育てができるよう環境を整え、個々に寄り添った相談や支援を行います。

### ■ 成長発達に関する知識の普及

発達年齢に応じた子育て教室の開催や地域の子育てサロンに保健師等が出向き、子どもの成長発達に関する知識の普及と育児不安の軽減を図ります。



子育て総合相談窓口

### ■ 子どもの事故防止に関する知識の普及 **新規・重点**

家庭内の子どもの事故を未然に防げるように、保護者に対し、知識の普及啓発を行います。

## 施策16 子育てしやすいまちづくりを進めます

実現させるための方策

### ■ 「さくらひろば」の充実

子育て中の親同士が定期的に交流し、子育てに関する悩み等を保育士や保健師等に相談できる「さくらひろば」の活動を充実させることにより、子育てに関する様々な悩みに対応します。



さくらひろば

### ■ 親同士の交流の場の促進

地域の飲食店とのタイアップにより、子育てに関して同じ境遇を分かり合える親同士が、子連れでおしゃべりできるイベント「おやこカフェ」を実施します。

### ■ 親と地域との接点づくり

子育て中の親と地域の住民が交流でき、つながりを持てるイベントを、学区運営のサロン等と連携して企画します。

### ■ 情報発信の充実

家庭の状況・ニーズに応じた子育てに関する情報をスムーズに取得できるように子育て支援ネットワーク「さくらっこ♪」と連携してウェブサイトを実践させます。

## 施策17 児童虐待のないまちづくりをめざします

実現させるための方策

### ■ 関係機関との情報共有・連携の強化

学校、子ども応援委員会、児童相談所等の子どもと関わりを持つ関係機関との連携強化により、支援を必要とする家庭への対応を協議する場の充実を図り、児童虐待やヤングケアラーの早期発見と迅速な支援につなげます。

### ■ 児童虐待防止の啓発

児童虐待防止の意識高揚のため、シンボルである「オレンジリボン」と児童相談所虐待対応ダイヤル189（いちはやく）を周知します。

また、児童虐待防止推進月間には、区民とともに、子育てや親子のあり方を考えるきっかけとなるようなイベント等を実施します。

児童虐待防止啓発  
名古屋提灯ツリー



## 施策18 働きながら子育てできるまちづくりを進めます

実現させるための方策

### ■ 保育ニーズの把握ときめ細やかな情報発信

さくらひろば等の機会をとらえて多様化する地域の保育ニーズの把握につとめ、保育所利用希望者に対して個々の事情に応じたきめ細やかな相談支援とウェブサイト等を利用した情報発信を行います。

### ■ 子育て家庭への支援

保育所等と連携し、子育てに関する相談や情報提供と、それぞれの家庭の状況に応じ関係機関へ紹介等を行うことで、地域で安心して子育てができるよう支援を行います。また、働く子育て世帯に対する応援をテーマとしたイベント等を実施します。



子どもと朝ごはん  
瑞穂区ナンバー1決定戦!

# 施策19 子どもたちが活発に交流できるまちづくりを進めます

実現させるための方策

## ■ 年齢の異なる子ども同士の交流の促進

様々な年齢の子どもがいっしょに参加できる企画を関係機関と連携して実施します。

## ■ 子どもを中心とした地域交流の活性化

子どもと一緒に親も参加したくなるイベントを地域と協力して行うことにより、親同士の交流から地域における交流へと発展するような仕組みづくりを支援します。

## ■ 子ども会活動の活性化に向けた支援 新規・重点

子どもの遊びを中心とした継続的で自主的な集団活動を通じて、その社会性を養い、子どもたちの主体性を育むことができるよう、子ども会活動の活性化に向けた支援を行うとともに、その持続可能な運営の仕組みづくりを促進します。



児童館事業

成果指標	指標	現状値	目標値
		子育てしやすいまちだと思える区民の割合	65.6%
	児童相談所虐待対応ダイヤル189(いちはやく)の認知度	26.5%	30.0%

